

## 委託訓練カリキュラム

訓練科目名	保育士養成コース(2年)		就職先の職務・仕事	保育所・保育園・病児保育施設・学童保育施設・児童発達支援施設・託児所・乳児院・児童福祉施設等の保育士・認定こども園などの保育教諭(保育士+幼稚園教諭)		
訓練期間	令和8年4月1日から 令和10年3月31日(2年)					
訓練目標	指定保育士養成施設において、保育士養成課程を中心に、講義、演習、実技及び実習により、保育に関する専門的知識と技術を習得する。					
仕上がり像	保育士資格(国家資格)を有する専門的な人材として、保育所や児童福祉施設等において正社員として就職して活躍できる人材。					
訓練概要	訓練概要は、保育の基本概念や子ども理解を中心に、講義を通して基礎力を養った後に、演習形式を取り入れ、グループワークや実践的課題を通して応用力を身に付けさせる。そして、保育・教育実習を通じて課題発見・解決力を高め、保育者としての保育実践力を高めていく。理論と実践を融合し、保育・教育現場で即戦力となる人材の育成をめざす。訓練修了時には、「保育士資格」と「幼稚園二種免許状」を取得できる。					
領域	形態	科目	科目の内容			
教養科目	講義	日本国憲法(必修科目)	日本国憲法の基礎的な知識および理念を学び、子どもの人権保障を理解する			
	講義・実技	体育理論・体育実技(必修科目)	運動理論を学ぶ(15時間)・身体活動を通して運動技能を高める(45時間)			
	演習	英語コミュニケーション(必修科目)	保育英語の基本について、ヒアリング・スピーキングをネイティブスピーカーから学ぶ			
	演習	情報処理(必修科目)	パソコンの基礎的知識を学び、基本操作技術と情報活用の方法について習得する			
	講義	人権教育(必修科目)	社会の構造や制度を含み、従事する保育・教育分野における人権の保護について学ぶ			
	講義	国語表現法(選択必修科目)	読む・書くなどの国語力を高め、保育者としての必要な言語表現力・文章力を身に付ける			
目的保修の科目に関する質疑・科目	講義	保育原理	幼稚園教育要領・保育所保育指針を中心に、保育の理念・基本原則について学ぶ			
	講義	教育原理	教育の思想や歴史的変遷を踏まえ、教育の基本原則について学ぶ			
	講義	子ども家庭福祉	子ども家庭福祉の意義や歴史、さらに子育て家庭への福祉制度・支援の仕組みについて			
	講義	社会福祉	社会福祉の理念、制度を学び、援助・支援の在り方について理解する			
	講義	子ども家庭支援論	子育て社会を取り巻く社会状況を踏まえ、子どもと家庭を支える制度・支援方法を学ぶ			
	講義	社会的養護 I	社会的養護が必要な子どもへの支援を理解し、その社会制度・養護の内容について学ぶ			
	講義	保育・教職概論	子どもの理解を深め、保育者の役割を理解し、専門職としての倫理について学ぶ			
	演習	こどもと人間関係	こどもの人間関係における発達と保育者の支援・援助について学ぶ			
	演習	こどもと環境	こどもを取り巻く環境構成と保育者の支援・援助について学ぶ			
	演習	こどもと言葉	こどもの言葉の発達過程と保育者の支援・援助について学ぶ			
理解保育の科目に関する質疑・科目	講義	発達心理学	発達・教育心理学的な知見を踏まえた子どもの心と身体の発達過程について			
	講義	子ども家庭支援の心理学	親子・家族関係について理解を深め、子育て家庭への心理学的な援助・支援について学ぶ			
	演習	子どもの理解と援助	子どもを理解するための様々な理論を踏まえた援助方法について			
	講義	子どもの保健	子どもの疾病の知識とその予防法について学び、保健的な援助や支援を理解する			
	演習	子どもの食と栄養	子どもの発育・発達に必要な食と栄養に関する基本的知識を学ぶ			
	講義	教育相談論	子どもの理解の視点を学び、カウンセリングの基礎を含む教育相談の方法について理解する			
保育の内容・方法に関する科目(必修科目)	講義	保育・教育課程総論	保育の質向上における保育・教育の意義とカリキュラムの作成・内容について			
	演習	保育内容総論	保育の基本理念について 5領域(健康・人間関係・環境・言葉・表現)を総合的に学ぶ			
	演習	健康指導法	5領域「健康」における子どもの健康の理解と保育者の指導方法について			
	演習	人間関係指導法	5領域「人間関係」における子どもの人間関係の理解と保育者の指導方法について			
	演習	環境指導法	5領域「環境」における子どもを取り巻く環境の理解と保育者の指導方法について			
	演習	言葉指導法	5領域「言葉」における子どもの言葉の発達の理解と保育者の指導方法について			
	演習	表現指導法	5領域「表現」における子どもの表現力の発達の理解と保育者の指導方法について			
	演習	こどもと音楽表現	こどもの音楽表現の発達に関わる知識と援助について 主に器楽演奏(ピアノ)の習得			
	演習	こどもと造形表現	こどもの造形表現に関わる知識と援助 感性や想像力を豊かにする製作や表現方法			
	演習	こどもと造形表現 II	こどもの造形表現に関わる知識と援助について(II) 製作や造形の表現を向上させる			
	演習	こどもと造形表現 III	こどもの造形表現に関わる知識と援助について(III) 表現活動・造形表現の展開			
	演習	こどもと健康	こどもの健康に関する衛生管理や感染症など、健康に関わる基本的知識を学ぶ			
	講義	乳児保育 I	乳児の保育における知識とその保育実践について(I) 乳児保育の理念とその役割			
	演習	乳児保育 II	乳児の保育における知識とその保育実践について(II) 乳児保育の実際について			
	演習	子どもの健康と安全	衛生管理や安全対策など、子どもの健康と安全を守るためにの知識とその支援について			
	演習	障がい児・特別支援教育	特別なニーズを持つ子どもの育ちを支えるための障がい児教育・特別支援教育について			
	演習	社会的養護 II	社会的養護が必要となる子どもへの支援を理解し、制度や内容を踏まえた支援について学ぶ			
	演習	子育て支援	地域の子育てを支援・援助するための基本姿勢や理論を学ぶ			
	講義・実技	音楽理論	音楽理論(15時間)音楽実技(15時間) 音楽の基礎理論と表現理解について			
	演習	音楽器楽 II	習熟度別の器楽演奏(ピアノ)を修得するための演習(個人レッスン)			
	演習	幼児体育 II	遊びを通した子どもの心身の発達に応じた幼児体育の指導法について			
総合演習	演習	保育・教職実践演習(必修科目)	保育・教育における実践力を高めるための総合的な演習			
必修実習科目	実習	保育実習 I	保育実習 I-1(保育所)・保育実習 I-2(児童福祉施設)			
	演習	保育実習指導 I	保育実習 I-1(保育所)・保育実習 I-2(児童福祉施設)における事前指導・事後指導			
	実習	保育実習 II	保育実習 II(保育所) 設定保育を含む総合実習(保育所)			
	演習	保育実習指導 II	保育実習 II(保育所) における事前指導・事後指導			
幼稚園教諭科目に二種幼稚園教諭科目に選択する科目	講義	教育行政論	教育の社会的、制度的な知識や理論を学ぶ(学校安全への対応を含む)			
	講義	教育方法・技術論	教育の方法・技術について基礎的な理解について(情報機器及び教材活用を含む)			
	演習・実習	教育実習	教育実習・観察・参加実習から設定保育を含む責任実習まで(事前指導・事後指導を含む)			
	演習	レクリエーション活動援助法	保育・教育におけるレクリエーション活動のプログラムについて、理論と援助を学ぶ			
その他講の座他	講義	安全衛生	乳児の救急救命について学ぶ			
	講義	働くことの基本ルール	労働に関する法律講座(雇用形態・安心して働くための保険や労働条件)			
	講義	法律講座	デジタルリテラシーに関する法律講座			
就職支援	講義	就職ガイダンス	キャリア形成を意識した就職に向けた社会人としての基礎力向上と就職支援・指導			
訓練時間総合計				1859 時間		
学科	579 時間	実技	1220 時間	就職支援 60 時間		

## 訓練コース内容

識別コード	26L0407	訓練コース番号	5-08-27-207-05-0085
訓練科名	長期高度人材育成コース 保育士養成コース(2年)		
訓練期間	令和8年4月1日(水)～令和10年3月31日(金)		
訓練実施校名	箕面学園福祉保育専門学校		
所在地	箕面市箕面7丁目7番31号		
電話番号	072-723-6590	受付時間	(月～金) 10:00～17:00(祝日除く)
事前説明会日時	2月 9日(月)13:30～14:30 その後個別相談・施設案内		
	2月13日(金)13:30～14:30 その後個別相談・施設案内		
	2月18日(水)10:30～11:30 その後個別相談・施設案内		
	2月25日(水)10:30～11:30 その後個別相談・施設案内		
選考試験日	3月13日(金)		
試験科目	小論文・個人面接		
入校に必要な最終学歴	高等学校卒業以上もしくは同等資格以上		
最寄り駅	阪急電鉄 箕面 線 箕面 駅(徒歩 5分・距離 0.7 km)		
備考			

【最寄り駅からの地図】

